

ネットヨタ大阪様より東日本大震災以降 10回目のご寄付をいただきました！

ネットヨタ大阪株式会社（本社：大阪府大阪市浪速区 代表取締役社長 福井祐子）様より東日本大震災支援（10回目）として、150万円のご寄付をいただき、昨年9月27日（火）に石巻みづほ幼稚園（石巻市）で贈呈式を行いました。当日は、園児より福井社長（写真右下）に手作りのありがとうメッセージが渡されました。継続したご支援に感謝申し上げます。



「第68回 宮城県社会福祉大会」が 開催されました！

昨年11月9日（水）、仙台サンプラザホテルにおいて「第68回 宮城県社会福祉大会」が開催されました。本大会は長年にわたり社会福祉の発展にご尽力頂いた方々を顕彰することを目的として開催しております。本会からは15団体、758名に表彰及び感謝状を贈呈いたしました。長年にわたる共同募金事業へのご協力に心から感謝申し上げます。



「東日本大震災復興支援 車両贈呈式」を 開催しました！

本県では、震災発生時全国から様々な温かい支援をいただきました。特に車両の寄贈は、被災地におけるボランティア活動や地域福祉支援の一端を担いましたが、12年以上が経過し、経年劣化により廃車の時期を迎えたことから、宮城県社会福祉協議会及び沿岸部10市町社会福祉協議会に対し車両整備支援を行いました。今後も被災地の復興支援を継続していきます！



第11弾 「むすび丸ピンバッジ募金」で防災資機材整備！

今年も仙台・宮城観光キャラクター「むすび丸」とのコラボピンバッジを作製し、「むすび丸ピンバッジ募金」を行います。この募金は制作費を除き、県内の市町村社会福祉協議会が行う防災資機材整備の助成に活用します。10月より頒布いたしますので、皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。



※イラストはイメージです。実物と多少異なります。

10月1日より全国一斉に 赤い羽根共同募金運動が展開されました！

前年度に続き令和4年度も新型コロナウイルス感染症が収束しない状況でしたが、関係機関・団体のご尽力とご協力により、感染防止に十分に配慮したかたちで赤い羽根共同募金運動を全国一斉に展開することができました。



「令和5年度事業 赤い羽根共同募金 助成決定通知書伝達式」を開催しました！

4月24日（月）、27日（木）の両日、仙台市市民活動サポートセンターにおいて、「赤い羽根共同募金助成金決定通知書伝達式」を開催しました。県域助成4事業として、65団体に計59,068,000円が助成決定され、各団体・施設の事業に活用されます。



南三陸町で「つながりワーカー養成研修会」が 開催されました！

赤い羽根福祉基金（中央共同募金会）を活用した「つながりワーカー養成研修会」が、7月7日（金）南三陸町で開催されました。長期化するコロナ禍における地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材（つながりワーカー）を地域に増やしていくことを目的に実施しています。今年度本県では、石巻市、東松島市、丸森町、七ヶ浜町でも開催されます。



ボタン1つで募金ができる「募金箱付自動販売機 ハートフルベンダー」の設置協力をお願いします！

ハートフルベンダーは、飲料自動販売機を募金箱として活用する事業です。ハートフルベンダーを通じて、いつでもどこでも誰もが気軽に共同募金運動に参加できます。令和4年は県内で180台の自動販売機から、計1,951,485円の募金実績となりました。現在設置先の募集を行っていますので、設置についてご協力をお願い申し上げます。



赤い羽根 だより

第36号
令和5年



〈発行〉
社会福祉法人 宮城県共同募金会
〒984-0051 仙台市若林区新寺一丁目4番28号
TEL 022-292-5001
FAX 022-292-5002
URL : http://www.akaihane-miyagi.or.jp/

「この広報誌は、赤い羽根募金の一部を活用し発行しています。」



皆さまの温かい善意に支えられ「赤い羽根募金運動」は、
今年も10月1日から全国一斉にスタートします。
～ほんの小さなやさしさで広がる大きな支援の輪～

令和5年度 共同募金運動目標額

総額

369,944,000 円

※寄付は自発的に行うものであり、強制で行うものではありません。目標額はあくまでも目安です。

内訳

赤い羽根募金

292,021,000 円

県域助成目標額211,644,530円は、県内の社会福祉施設等の整備や、県域で活動するNPO等への助成として活用されます。



また、市町村域助成目標額80,376,470円は、皆さまがお住まいの身近な地域での福祉事業に活用されます。

歳末たすけあい募金

68,923,000 円

新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人々が安心して暮らせることができるよう、見舞金や地域の見守り活動等に活用されます。



NHK歳末たすけあい募金

9,000,000 円



福祉施設や団体等に対する、車両整備や年末年始の行事費、児童養護施設等に入所する児童への普通自動車運転免許取得支援に活用されます。



「共同募金」について

赤い羽根共同募金は、民間の運動として1947年（昭和22年）に、市民が主体の取り組みとしてスタートしました。当初は戦後復興の一助として、福祉施設を中心に資金支援する活動としての機能を果たしてきました。

その後、「社会福祉事業法（平成12年社会福祉法に改正）」のもと、「民間の社会福祉の推進」に向けて、社会福祉事業の推進のために活用されてきました。

そして77年がたった今、社会が大きく変化する中で、近年の取り組みとして、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む、民間団体を支援する事業や、市民のやさしさや思いやりを届ける住民主体の運動として推進しています。

赤い羽根共同募金は、市民自らの行動を応援する、「じぶんの町を良くするしくみ。」です。



赤い羽根募金		302,487,661円	
県域	186,580,593円	市町村域	115,907,068円
未たすけあい募金		77,767,235円	
地域歳末	68,201,677円	NHK 歳末	9,565,558円
総計		380,254,896円	

昨年もたくさんの
募金が寄せられ
たんだね!

1. 赤い羽根募金

① 社会福祉施設整備事業 (車両、施設の修繕、備品整備)	13件	9,980,000円
② 地域福祉推進巡回車両整備事業	2件	2,960,000円
③ 社会福祉団体支援事業	13件	4,930,000円
④ 参加と協働による新たな 地域共生社会づくり支援事業	8件	6,630,000円
⑤ 住民力・地域力・福祉力を 高める支援事業	45件	2,180,000円
⑥ みやぎチャレンジプロジェクト事業	37件	46,128,000円
⑦ 自立サポートハウス支援事業	3件	2,590,000円
⑧ 防災資機材整備支援事業	—	2,000,000円
⑨ 小規模災害支援金	—	4,000,000円
⑩ 児童養護施設自立支援事業	—	2,150,000円
⑪ 緊急助成支援事業	—	1,350,000円
⑫ 中央共同募金会等協働支援事業	—	10,800,000円
⑬ 災害等準備金積立	—	11,000,000円
⑭ 市町村域事業	407件	109,431,665円
⑮ 運動経費	—	86,357,996円
合 計		302,487,661円

※⑧から⑬は、令和5年度募集助成事業となります。

2.地域歳末たすけあい募金

①	配食サービス等 高齢者支援事業	36件	18,179,728円
②	障害児・者の 社会参加支援事業	11件	2,223,055円
③	児童・青少年の 健全育成支援事業	22件	2,844,249円
④	課題を抱える人の支援等 住民全般支援事業	48件	43,987,674円
⑤	次年度助成金	—	966,971円
合 計			68,201,677円

※⑤は令和5年度助成金として活用されます。

3.NHK歳末たすけあい募金

①車両整備事業	3件	4,500,000円
②施設・団体の 年末年始行事費	44件	1,320,000円
③児童養護施設等普通 自動車免許支援事業	23件	3,450,000円
④運動経費	—	454,158円
合 計		9,724,158円

※差額158,600円は、繰越金を充当。



赤い羽根データベース「はねっと」では、赤い羽根共同募金のつかいみちを閲覧することができます。

<https://hanett.akaihane.or.jp>



ありがとうメッセージ

「赤い羽根共同募金の助成を受けた施設・団体よりたくさんのありがとうメッセージが届いています！」

晴れた日には、お庭で思いっきり遊ぶのが大好きな子どもたち。沐浴槽ユニットを設置できたおかげで、遊んだ後もさっぱりという気持ちです。ピカピカの沐浴槽に入るのが楽しみでワクワクしている子どももいます。これからのんびり気持ちいい時間を過ごせそうです。この度は本当にありがとうございます。



毎食の食器洗い後に行っていた手作業の消毒がなくなったことにより、他の作業に時間をかけられ、子どもたちにより安心・安全な食事提供を行えるようになりました。それは更なる食事のおいしさに繋がっています。大変助かりました。本当にありがとうございます。



新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、地域でのお茶飲み会やスポーツ大会などの交流事業が再開し始めました。地域の方々と共に地域活動の活性化を図るべく、地域巡回車両に使用するほか、地域行事の荷物運搬車両として活用させていただきます。この度は、皆さまからの貴重な浄財を助成いただきありがとうございます。

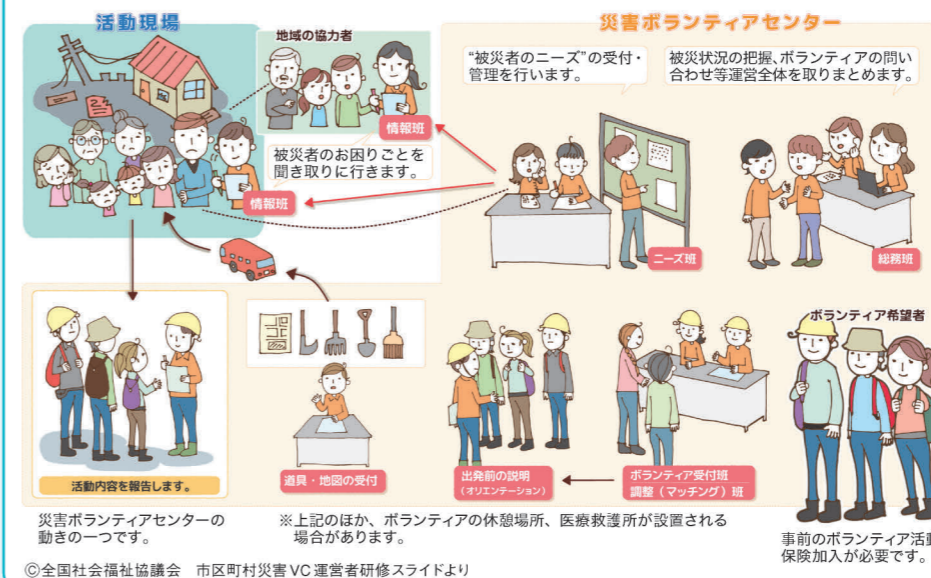


今年も5月の石川県能登地方地震、6月の台風2号や7月の梅雨前線、線状降水帯の影響による大雨で、九州北部はじめ秋田県など全国各地で多くの災害が発生しています。災害はいつ、どこで起こるかわかりません。共同募金会では、国内で発生する災害に対して、毎年実施している赤い羽根共同募金からの「災害等準備金」による災害ボランティアセンターの運営助成、中央共同募金会が運営する「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」の支援金（ボラサポ）や義援金の募集を通じ、被災された方々と被災地で活動するボランティア・NPO活動を支える取り組みを行っています。



各都道府県共同募金会では、社会福祉法第118条に基づき、災害救助法が適用された大規模災害発生後すぐに災害復旧支援が行えるよう、毎年、募金実績額の3%を災害等準備金として3カ年積み立て、災害発生時には準備金を取り崩して、災害ボランティアセンターの設置・運営等を支援します。また、被災県の災害等準備金が不足した場合は、他の都道府県共同募金会が保有する準備金から必要額を拠出し合い、被災地を支援します。

令和4年7月大雨災害で大崎市災害ボランティア
センターに寄せられた感謝の手紙



挨拶 社協の皆様へ
 七月十六日未明、大雨により浸水被害にあいました。
 そうした中、大崎市社協、大崎市協会の職員の方と災害派遣連絡センターの方が、速に、自らを訪問して下さいました。「これから災害ボランティア作業に私が手助けいたしますので、ストレートを濡めたいときに元気をだして下さい。」と優しく励まして下さいました。本当に安心いたしました。
 そんな中作業は開始され、社協の方とボランティアの方でどんどん進んでいく早さには、本当に驚ばかりでした。本当に社協の方をボランティアの方にも参加していただく方が、多かりがとうとうお疲れされました。八月一日に皆さんとの協力により、いつも通りの清々しい朝を迎える事が出来ました。ありがとうございます。
 お世話になりました。ボランティアの方々山形が、来ていただいた方々、古川工業高校野球部の生徒の方々、遠くから来ていただいた方々、そして、又、御家族四人、先生委員さん、学生さん、ありがとうございます。
 最後に、社協職員皆様には、夏の大変暑い中、精根私達を支えて下さり、ありがとうございます。ありがとうございました。
 とうとう、さよならです。生々すれせん！
 先祖供養もいらない墓の上で亡き無事出来た事を心から御礼致します。ありがとうございます。御近状にわたるの事は是非お願いし寄ります。また、御挨拶しております。敬具
 大崎市古川 白目 遠藤哲朗ゆき子

災害救助法が適用された災害において被災された方々に見舞金をお渡しするための募金です。お寄せいただいた義援金は、被災地の自治体及び関係機関で構成される義援金配分委員会によって配分が決定され、被災者に届けられます。

◎令和5年8月10日現在募集中の義援金
「令和5年5月能登地方地震災害義援金」、「令和5年台風第2号災害静岡県義援金」、「[2023年台風第2号による大雨災害義援金]（茨城県）」、「令和5年台風第2号等大雨災害埼玉県義援金」、「和歌山県令和5年台風第2号災害義援金」、「山口県令和5年6月30日からの大雨災害義援金」、「令和5年7月九州北部豪雨災害佐賀県義援金」、「福岡県令和5年7月豪雨災害義援金」、「秋田県大雨災害義援金」、「令和5年7月島根県大雨災害義援金」、「富山県令和5年6・7月豪雨災害義援金」、「大分県共募令和5年7月大分県豪雨災害義援金」

※義援金により募集期間が異なりますので、詳しくはお問い合わせください。

中央共同募金会が主体となっていて、被災地等で活動するボランティアグループやNPOの活動を支援するため資金を集める募金です。



本会では、仙台・宮城観光キャラクター「むすび丸」とのコラボピンバッジを作製・頒布し、県内の市町村社会福祉協議会が行う防災資機材整備の助成に活用します。

